

Light Friend Association Since 1977



LFA

147号
2020年10月

最新情報は
HPからどうぞ！



光友会ホームページ
<http://www.lfa.jp>



1年ぶりに遊びに来たよー！

写真家 齋藤陽道さん 筆談インタビュー

Index - もくじ -

P1-2 写真家 齋藤陽道さんインタビュー | P3 NHK 都圏ネットワークで放送されました
P4 新人紹介・資格取得者紹介・神奈川県眼科医会御礼 | P5-7 事業所だより | P8 推進協だより

「夢見る風」 を振り返る。

写真家のみならずエッセイ本の出版や自身のドキュメンタリー映画出演など多岐にわたり活躍されている齋藤陽道さん。今回は多忙なスケジュールのなか、再び希望の郷を訪ねてくれました。希望の郷入居者の石原さん、家族会の真鍋さんとともに、湘南希望の郷で行われた写真展「夢見る風」を改めて振り返ります。

—文化祭から一年が経過しました。振り返りながら改めていくつか質問をさせていただきます。早速ですが、希望の郷のどういうところが気になりましたか？

齋藤：展示を引き受けるにあたってまずは、施設を見てみないと、ということで初めて希望の郷に来たのが、4年前になります。

—実際にご覧になってどのような印象を持たれましたか？

齋藤：他者を迎えるオープンな風が、希望の郷にはあるな、と感じことです。実際に施設を見て、「あ、出来る！」と思いましたね。

—まさに風を感じるようなユニークな展示方法でしたが、どのように思いついたのでしょうか？

齋藤：話し合いを重ね、風をもっと通したいと感じ、そのうえで写真でこそこできることは何か、考えていったことで「夢見る風」という展示方法に行きつきました。

—昨年に引き続き今年もいらっしゃったのには、さらにどんなところに興味を持たれたからでしょうか？

齋藤：この度、熊本へ活動拠点を移すことになりました。そうそう来れなくなると思ったら、ここで出会った人をより僕の望む写真の形で残したい、そう思っていたところ、コロナ禍の影響で外出が出来

ずにいる入居者さんや感染防止に頑張っている職員さんが少しでも元気になるように作品を展示してもらえないかというお話しもあって、来ました！

—とても嬉しいです。

齋藤：僕も嬉しいです！近ければもっと日常的な営みを残せたのかなと思うとちょっと心残りです。この心残りがないように、今日は撮影したいと思います！

—今年の1月には「ひだまり」という新しいグループホームが誕生しました。希望の郷にいた10名がご本人の希望で、郊外から住宅地へ引っ越され、新しい生活が始まりました。

齋藤：風が通ってゆきますね！



齋藤陽道

1983年東京都生まれ。写真家、エッセイスト、障害者プロレス「ドッグレッグス」所属。都立石神井ろう学校卒業。

湘南希望の郷
溝渚所長より
コメント

齋藤さんの写真は、撮る方の人柄がにじみ出てくるような温かみを感じさせてくださいます。普段の支援の中で見逃している事柄にハッと気付かされ、せわしなくしている自分を戒めています。今後のご活躍を祈念いたします。ありがとうございました。

湘南あっとほーむ・ひだまり NHK 首都圏ネットワークで放送されました！

国は福祉改革の理念として「地域共生社会」を掲げていますが障害者総合支援法においては、社会参加の機会の確保、地域社会における共生、社会的障壁の除去が明文化され、在宅福祉や障害者雇用などの取り組みが進められています。そうした中で、障害福祉サービスの新たな類型として登場したのが「日中サービス支援型共同生活援助事業」であり、光友会が2020年1月に開所した「湘南あっとほーむ・ひだまり」もその一つです。法人理念に基づいた福祉事業の実践として光友会が踏み出した一歩は、全国的に見てもいち早い取り組みとして注目されています。



◀ NHKの記者からインタビューを受けるサービス管理責任者の高橋職員。放送を見た地域の多くの皆さんが「ひだまり」の事を知り、交流や親睦につながればと期待を寄せる。

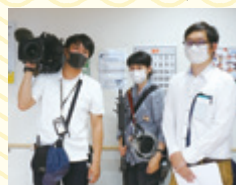
▶ 撮影が行われたのは、余暇活動のヨガの時間。講師の中島さん（左）は、活動前に必ず一人ずつ声をかけます。こうした場面もひだまりの日常の1つ。



▶ 文字盤を使ってインタビューに応じる市川さん。おしゃれになりたいと思いついたのが「坊主スタイル」。インタビュー中どことなく誇らしげな表情なのが印象的。



共生社会をテーマに取材を続けています。抽象的で難しいテーマですが、リアルな日常を多くの方に知ってもらえるよう頑張ります！



NHK記者の山田さんと撮影クルーの皆さん

取材を終えて

日常生活の多くの場面で支援を必要とする方々が、郊外の入所施設での暮らしから、住宅街の中にあるグループホームへと居を移されました。すぐに何かが変わるという訳ではありませんが、施設と地域が物理的に近いという点では大きな可能性を感じています。また、地域の方にとって障害は、日常の中で意識することがないと言うだけで、先入観のないフラットな状態にいる人も多いと思います。そのような点では障害に対して理解を示してくれるという希望と期待を持っています。

今はコロナ禍で、やりたかった地域の方々との交流イベントが行えなかった分、今回の放送を見た地域の多くの皆さんが「ひだまり」の事を知ることによって、散歩のときに挨拶する場面が生まれたり、やがては交流や親睦につながればと期待しています。

湘南あっとほーむ・ひだまり サービス管理責任者 高橋



10月15日「首都圏ネットワーク」内で約5分間放送されました。

新人紹介

- ①今夢中になっている事
②実は私は〇〇なんです。or 〇〇だったんです。

湘南あっとほーむ・ひだまり

- ①動物の動画を観ること。
②スポーツ観戦が好きなんです。



諏訪部 真紀

いそご地域活動ホームいぶき

- ①植物のお世話をする事。
②ピーマンが苦手なんです。



大西 全子

ひかり一時預かり

- ①ジムに通い楽しく体を動かすこと。
②ゴスペルで歌ってます。



橘 久美枝

放課後等デイサービス

- ①お菓子作りに夢中になっています。
②注射が嫌いなんです。



杉浦 雅実

2020年度光友会業務関係資格取得者のご紹介

今年度は次の方が、それぞれの事業所における業務関係資格を取得し、資格取得褒賞授与の対象となりました。忙しい合間を縫っての自己研鑽、大変ご苦労様でした。

◇介護福祉士

いそご地域活動ホームいぶき 吉村智典
いそご地域活動ホームいぶき 佐々木あづさ
いそご地域活動ホームいぶき 広瀬亜美
いぶきの家 川島和代
藤の実学園 戸村朗子

◇介護福祉士実務者研修終了

神奈川ワークショップ 佐々木早織

藤の実学園 杉山恵美

◇介護福祉士初任者研修修了

湘南希望の郷 佐藤紀恵

◇サービス接遇実務検定3級・2級

ライフ湘南 三橋ひかる

◇第一種衛生管理者

湘南希望の郷 下條隆史

◇同行援護従事者養成研修一般課程修了

藤の実学園 奥津香奈子

◇全身性障害者移動支援従業者養成研修課程修了

藤の実学園 奥津香奈子

神奈川県眼科医会「愛の募金箱」からご寄付を頂きました

神奈川県眼科医会は、800名以上の眼科医で構成される大きな場団体です。眼科診療所や病院の受付窓口にかかれた「愛の募金箱」から、光友会を含め県内の関係団体に寄付がありました。例年は神奈川県総合医療会館でその寄付金の贈呈式が開催されておりましたが、新型コロナ

ナウイルス感染症拡大防止のため現金書留にていただきました。

今後とも神奈川県眼科医会の皆様のご期待に添いますように、光友会職員一同、利用者・ご家族・地域の皆様のために努力して参ります。誠にありがとうございました。

事業所だより

湘南希望の郷

卓上競技（オセロ）

田中 雅典

日中のプログラム活動の卓上競技では、毎回オセロの盤面上を火花が飛び散るほどの熱戦を繰り広げています。しかし今年は、新型コロナウイルス感染防止対策で、対戦者の間を透明なビニールシートで隔てて対戦を行っています。

最初はビニールシートが気になっていましたが、盤面の黒白の石に集中し、対戦が白熱してくるとシートがあることも気にならないようになっていきます。



勝敗が決まったら盤面を消毒して終了します。

ライフ湘南

就職おめでとうございます！

相原 佐登美

ライフ湘南から就職の報告です。世界中で新型コロナウイルス感染の暗いニュースが多い中、ライフ湘南では明るいニュースが入ってきました。

2名の方が「株式会社ハーベスト」と「オーケー株式会社」にそれぞれ就職が決まり、新しいスタートを迎えます。

コロナ禍の中、求人募集も減り厳しい状況でしたが、諦めずに就労プログラムを進めていった結果、自分達が希望していた就職に結びつきました。おめでとうございます。



オーケー株式会社に就職しました

神奈川ワークショップ

小出川彼岸花まつり

櫻井 美樹男

9/19に「第13回小出川彼岸花まつり」が開催されました。コロナ禍でイベントが相次ぎ中止になっているため神奈川ワークショップとしては今年度初めての出店となりました。

彼岸花は夏の酷暑の影響でまだ3分咲き程度でしたが、当日は天候にも恵まれ多くの方々を訪れ小出川沿いに咲く彼岸花を楽しんでいました。イベントには藤沢市長をはじめ多くの議員さんも訪れご挨拶するなど盛況に執り行われ、パンの販売も昼過ぎには全て完売することができました。

まだまだ大規模なイベントを開催するのは難しい状況ですが、今回のような地域のイベントが行われる際には十分な感染対策をしたうえで積極的に参加していきたいと思います。



寒川事業所

力作お待ちしております！

～ギャラリー展示のご案内～

寒川まち食堂

利用者・職員一同

寒川事業所「寒川まち食堂」では、食堂の壁一面をギャラリーとして利用していただいております。絵画・写真等、食堂の壁一面を目一杯お使いください！皆様の力作をお待ちしております。



9月1日～28日 地域の写真サークル「寒川写真友会」様の作品展示があり、食事を召し上がりながらご鑑賞していただきました。

事業所だより

藤沢市太陽の家
藤の実学園

夏を満喫しました！

猪狩 千弥

毎年実施しているプール活動ですが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、今年度は「涼の会」として、太陽の家にあるプールや園庭を使用した水遊びを実施しました。何とか夏の涼を楽しんでいただきたい思いで、人数制限やソーシャルディスタンス等、様々な感染防止対策を徹底しました。

残暑きびしい9月には、娯楽室にて「藤の実学園縁日」を行いました。利用者・職員がはっぴを着



ながら、お面・ヨーヨー釣り・射的・金魚すくいを楽しみ、皆で夏を満喫する事が出来ました！

藤沢市太陽の家
しいの実学園

秋祭り

野間 紀子

しいの実学園三大大行事の一つ「秋まつり」が開催されました。例年ですと親子参加型で体育館で職員が模擬店を出して行なっていますが、今年度は子ども達のための参加でクラス単位で太鼓コーナー、おみこしコーナー、魚釣りコーナーを設け楽しみました。

また、クラス単位で作った提灯を松の実ホールに飾りました。色とりどりのかわいらしい作品が賑やかでした。

いそご地域活動ホーム
いぶき磯子区発達障害児・者地域支援
ネットワーク連絡会
(通称はっちネット)の取り組み

野見 和子

横浜市磯子区には発達障害児・者を支援している機関が集まる「はっちネット」があり、基幹相談支援センターが事務局を担っています。毎年区内の小中学校の先生方に向けて講座を開催していますが、今回は「地域の支援機関」を先生方に知ってもらう講座とし、いぶきの見学もしていただきました。

発達障害のあるお子さんを「学校」「家庭」「地域の支援者」みんなで支えていこう！という空気で満ちた会になりました。

湘南希望の郷
ケアセンター

ケアセンター 2020年 秋の行事

石井 健太

ケアセンターでは、9月に『うどん作り体験』に挑戦しました。衛生面を徹底し、4つの工程(こねる、踏む、延ばす、切る)を利用者、職員で力を合わせて取り組みました。午前中に作った生地を延ばし、切りたてを午後1時に茹でておやつ時間にいただきました。

今回の行事に取り組めたのは、ライフ湘南から異動してきた職員の経験があったからです。利用者のニーズを傾聴し、様々なスキルを活かすことでケアセンターで過ごす時間が充実したものにつながっていったらいいなと思いました。



事業所だより

湘南台地域包括
支援センター

ケアマネサロン



中村 八恵子

湘南台地域包括支援センターでは年数回ケアマネジャーを対象とした勉強会「ケアマネサロン」を開催してきました。本年度はコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、さる8月26日、第1回ケアマネサロンを開催することができました（参加者21名）。

今回は「今から備える老い支度」と題して、司法書士の西澤優美先生を講師にお迎えしました。相続や遺言から後見、家族信託まで、本人意思をできるだけ尊重する諸制度の利害得失、実効性を担保するキーパーソンの重要性についてわかりやすく説明していただきました。今年からスタートした自筆証書遺言書保管制度についても解説していただきました。参加者から「キーパーソンの重要性がよくわかった」、「ご本人・ご家族もお話が聞けると良かった」等のご感想が寄せられました。これからもケアマネジャーのスキルアップを通じて地域福祉の向上を図って行きたいと思います。

湘南あっとほーむ
・ ひだまり

ひだまりまつり

高橋 昌弘

9/19に「ひだまりまつり」を開催しました！ご家族や近隣住民の方々にも来ていただけるお祭りにしたかったのですが、新型コロナウイルスの影響により、今回はグループホーム内のみのお祭りとなりました。

ボッチャ的入れゲームの後、寒川事業所で作った「お祭り弁当」を食べ、その後は焼き鳥・ジュース・かき氷のスナックタイム！！最後はまつりのメインイベントとしてビンゴ大会を行いました。ビンゴが当たった時の入居者さんはとびっきりの笑顔！！中にはあまりにも嬉しくて泣きだしてしまう入居者さんも・・・。



もらった景品を嬉しそうに手にしながら大盛況の中、ひだまりまつりは閉会となりました。

サンライズ

藤沢サンライズ食事会（会席弁当）

村井 良行

最近行事が軒並み中止となるなか、9/8～24に藤沢サンライズにて食事会を開催しました。今回は利用者から「お刺身が食べたい」との声を受け、コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、テイクアウトの会席弁当を注文し、ご提供させて頂きました。利用者より「お刺身が新鮮で美味しかった。カマスの天ぷらがサクサク！」との声を頂き、とてもご満足されていました。

今後も感染予防を徹底し、新しい生活様式を取り入れて、笑顔の絶えないホームにして行きたいです。



ふくし村まつりとチャリティーコンサートについて

11月14日（土）にふくし村まつり、2021年1月16日（土）にチャリティーコンサートを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためにどちらも中止することになりました。

毎年多くの方々にお越しいただき、光友会と地域の皆様の交流の場としても大きな存在であったこの2つの行事が開催出来ないことは誠に残念ですが、利用者、地域の皆様、関係者の健康を第一と考え決断するに至りました。ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

・・・ 光友会事業推進協議会だより ・・・

WEBでの5役会議を開催！

8月27日、推進協としては初めてWEB会議による5役会議を行いました。概要について本号にてお知らせいたします。また、拡大5役会議とし、各事業所長にも参加いただき、情報共有と今後に向けての取り組みについて意見交換を行いました。以下に、その内容を掲載いたします。



左上：真鍋副会長
左下：村瀬会長
右上：松井副会長
右下：一杉調整役

【村瀬会長挨拶】

・コロナウイルスが蔓延する中で、このような工夫で課題解決ができるようにしていきたいので、ご協力をお願いしたい。

【議題】

各課題について説明後、意見交換を行いました。

1. 役員の役割の明確化について

コロナ時代への対応としての運営方法（機能）の明確化

- ・3役会：推進協各事業の方向性の検討と提案（WEB会議で月1回程度）
- ・5役会：各事業についての方向性の共有及び日常業務運営についての確認（WEB会議で3月に1回程度）
- ・企画運営会議：行事の運営等についての確認及び事業所内の取り組み報告（書面による開催とし、半年に1回程度）
⇒5役会議が終了した時点で書面会議等に対応。
- ・代議員：総会での意見反映（年1回）

【意見交換】

- ・提案通りで良いが、家族部会の意見集約と共有についての場を設けてほしい。
- ・家族懇談会は毎年行っているため、この状況下でも工夫して実施してほしい。
- ・懇談会と企画運営会議は分けておく必要がある。
- ・両方の会議とも重要なものなので工夫して実施することが必要に思う。
- ・接点に所長が存在しているので所長自身が責任をもって情報を共有を進めてほしい。
- ・各所長からは、ご家族の意見を踏まえて活動につなげたい。ご家族と事業所の関係をしっかりとつなげていきたい。などの意見が出されました。

編集後記

今年は、東京オリンピックの開催年でしたが、新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっているために1年延期になってしまいました。その影響は、光友会も例外ではなく毎年の恒例行事等が延期・中止になっています。行事等で月日の流れを感じていた私は、ただ流されるがままに寂しい日々を送っています。早くコロナウイルスの心配をせず、刺激のある生活を送れる日が来ることを楽しみに待っています。(M.N.)

編集委員

五十嵐理事長、森（事務管理部）、井地・高野・中西（就労福祉部）、村井・丸山（藤沢北地域福祉部）、松井・大貫・石井（在宅・公益福祉部）、猪狩・野間（藤沢南地域福祉部）、加古川（磯子地域福祉部）

なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、又は団体等の了解を得ています。

季刊

発行日 2020年10月
発行 光友会
責任者 理事長 五十嵐 紀子
発行所 〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008-1
社会福祉法人 光友会
電話 0466-48-1500
印刷所 光友会 神奈川ワークショップ

LFA 第147号